



志津南

9月号

news

志津南ホームページ

http://shizu373.net

志津南学区の人口 (7/31 現在)
世帯数 2,339 総人口 6,407 人

発行

志津南学区まちづくり協議会

Tel(fax) 077-563-6206

E-mail shizuminamimachi@gmail.com

事業見直し検討委初会合

月1開催で年内の結論目指す



志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左エ門会長)は、8月27日、第1回事業見直し検討委員会を開催しました。

委員は次の通り。花澤会長、山本和男(ふれあい推進委員長)、浅野謙一(かがやきの丘II民生委員)、遠藤和美(コージカーテン)、高田憲一(追分南)、平田武三(若草岡本西地区活動委員会事務局長)。

長、山本和男(ふれあい推進委員長)、浅野謙一(かがやきの丘II民生委員)、遠藤和美(コージカーテン)、高田憲一(追分南)、平田武三(若草岡本西地区活動委員会事務局長)。

委員長に山本和男さんを選出し、毎月1回開催、年内には結論を出せるよう取り組むことを確認しました。事務局はまち協事務局が担当します。

待ちに待ったお祭り、大賑わい



今年も、昨年を引き続き、7月28日に実施を予定していた志津南ふれあい夏まつりが中止となり、子どもたちにとっては待ちに待ったお祭りとなりました。

午後5時の祭りスタートとともに公園内に設置された焼きそば、フランクフルト、かき氷、スーパーボールすくい、お菓子

今年も、昨年を引き続き、7月28日に実施を予定していた志津南ふれあい夏まつりが中止となり、子どもたちにとっては待ちに待ったお祭りとなりました。

今年も、昨年を引き続き、7月28日に実施を予定していた志津南ふれあい夏まつりが中止となり、子どもたちにとっては待ちに待ったお祭りとなりました。



心肺蘇生法の訓練をする参加者

かがやき祭りに先立って、湖南広域消防局南消防署の消防士の方6人に来ていただき、町内会館さくらで防災訓練を実施しました。

すくいなど、12の模擬店に子どもたちが並び始めました。

特に今年はいくじ引きに豪華景品を用意したこともあり、特賞を当てるためにお祭りのスタート開始からくじ引きには長蛇の列ができ、

当日券を買って再度リベンジする子どもたちもいて大盛況でした。

10月12日センターで

ナンバーカード申請ひろば

志津南まちづくりセンターでは10月12日(土)14時から15時まで、志津南まちづくりセンター大会議室で「マイナンバー申請受付ひろば」を開催します。

会場では、草津市市民課の職員が、顔写真の撮影や申請書の書き方等の対応をします。会場で申請すると、約2か月後に草津市役所で

実際に体験しました。胸骨圧迫の訓練に参加した子どもにも感想を聞くという体重をかけて力を入れて押し

今回の訓練は大人と子どもも約40人が参加し、防災への意識が高まる貴重な訓練となりました。

防災訓練 子どもたちも積極参加

今年もたくさんの子どもの参加ができて、かがやき祭りを無事開催できたことを心から喜んでいきます。

今年のお祭りは、ボランティア、町内会役員、かがやき祭りの班長、なごみ会、子ども会役員など、総勢約50人のスタッフで運営しました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

模擬店に並び子どもたち

紙芝居

どこか懐かしく

やすらぎ学級第4回講座が8月28日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生25人が参加しました。



手作り紙芝居を披露する「びよんた」のメンバー

「オリジナル紙芝居」と題し、講師には手作り紙芝居グループ「びよんた」の皆さんを迎え、ストーリーから絵まで全てオリジナルで作られた紙芝居をはじめ、数々の楽しいプログラムを披露していただきました。

紙芝居のプロگرامは、「お救い村」野路玉川由来記、「ねこさん おことわり」「野崎小唄に 声あわせ」の3本立てです。

地域を題材にした話や心温まる動物達のストーリー、また、「野崎小唄に 声あわせ」は、本当に実在する女性から「自分の人生をせひ、紙芝居にして欲しい」との依頼を受けて取材し、作成された作品です。

最後は手品のコーナーです。軽快な音楽に乗せて、カードマジックなどが披露され、次の展開にドキドキしながら見守っていました。最後の本物の卵を使用して行うマジックでは、皆「ヒヤリ」としながらも、面白

暑さに負けずラジオ体操



志津南小学校PTA(伊藤由希江会長)は、恒例のラジオ体操を夏休み期間中の前半7月22日から8月9日、後半8月19日から8月23日までの土日除く計20日間、地域の公園などで行いました。

今年は夜間も気温が下がらず、朝日でも肌に痛みを感じるほどの強い日差しでしたが、おかげで子どもたちはしっかりと目を覚まし、ラジオ体操に取り組みました。

志津南まちづくりセンターは8月21日、教養文化講座「史跡探訪」の第2回を開催、講師にNPO京都観光文化を考える会・都草の野津隆さんを迎え「近江ゆかりの武将、明智光秀」をテーマに講演会を開きました。

史跡探訪 興味尽きない「光秀」

来年のNHK大河「麒麟が来る」の主人公、明智光秀ゆかりの地といえば、光秀生誕の城といわれる岐阜県可児市の明智城。丹波地



方統治するために建てられた京都府亀山城。丹波地方平定後築かれた京都府福知山城。光秀が初めて一城の主となった時に建てた近江の坂本城。光秀が敗れた山崎の戦いの地、京都府大山崎。そうした地の話や大変優秀であったとされる家臣団の構成の話などを聞きました。

敵は本能寺にあり、光秀はどんな気持ちだったのか、興味の尽きないところですよ。

第3回は11月6日(水)織田信長ゆかりの安土城址と多賀方面を訪ねます。



ラジオ体操する子ども達 川追分南三丁目児童遊園

おかしく、不思議なタネに笑い声が絶えませんでした。講座終了後には「日本昔話や、子ども時代を思い出して、とても懐かしく、すてきなオリジナル紙芝居を鑑賞できた」との声が聞かれました。

笑顔でクッキング



大切なかという説明を聞ききました。

16人の親子の参加者は各テーブルに分かれて、切り抜きの食材を使いながら意見を出し合い、バランスの良いおいしいような朝食メニューを考えました。

志津南学区健康推進員連絡協議会(荒木ギクエ代表)は8月24日、志津南まちづくりセンターで親子クッキングを開催しました。

最初にどんな食べ物が体の中でのどのような働きをするのか、そして朝食はなぜ

夏休み最後の一日は、自分たちで作ったおいしい料理に大満足で笑顔のクッキング教室となりました。



アキノゲシ (キク科)

全国の野草、道ばた、畑地に生育、秋に淡黄色の花をつける。高さ2mになると聞くと、「大男、総身に知恵が回りかね」で、思わず食べてもおいしくないのではと。

花が咲く前の若葉(約25cm)は柔らかく、生でみそ汁に入れたり、茹でて和え物、炒め物にすると美味。

“人は見かけによらぬ”で、それもそのはず、本種は野菜のチシャ類と近縁だったので。

(藤井崇弘)

試してみる方は十分に安全を確かめて下さい

夏まつりいろいろ楽しむ



かき氷やりんご飴の模擬店を楽しむ園児達

緑波くるみ保育園(服部登志夫園長)は8月28日、「夏まつりごっこ」と称して、

夏まつりごっこを楽しみました。

志津南ふれあい夏まつりへの参加を楽しみにしていた子どもたちですが、台風のため今年も中止となり、2年続けて参加できなかった年長児は、特に残念そうでした。

そこで、年長児

クラス毎にお店を出して催しをしました。手づくりのりんご飴やケーキ、アクセサリー、かき氷、たこ焼き、お化け屋敷、手



作り楽器の演奏など、盛り沢山です。BGMの江州音頭や頭上を飾るまつり提灯、そして、売買や飲食、催しごっこを楽しむ子どもたち

新学期に備え学校をきれいに

志津南小学校PTA(伊藤田希江会長)は8月24日、小学校の環境整備を行いました。写真。

夏休み最後の土曜日この日は前日からの大雨で天候が心配でしたが、雨も上がり450人を超える保護者が参加しました。事前に環境ボランティア

の姿で、とても盛り上がりた夏まつりごっこ。最後はもちろん、地域夏まつり恒例の「まんまる音頭」でしめくくりました。

の方々が、数日に分けて校舎周りの草刈りをしてください。校舎内も普段なかなかできない窓、玄関、階段などの掃除もすることができ

きました。ボランティアの方や先生方のご協力で、短時間で大きなけがもなく無事に終わる事ができ感謝しています。皆様、暑い中、本当にありがとうございました。子ども達もきれいな校舎、校庭で新学期が迎えられることでしょう。また近隣の方々には早朝よりお騒がせしました。お礼申し上げます。(志津南小・PTA環境部)

かがやきの丘 夏休み映画鑑賞会



かがやきの丘子ども会(永井幸子会長)は、8月1日、かがやきの丘自治会館きらりで映画鑑賞会を開催しました。写真。初めての試みだったので、本年度も開催することとなり、「シユウ・オンライン」を上映

画館での鑑賞のように、おやつと飲み物を手にやってきてくれました。上映中、友達と一緒に小さな声でおしゃべりしながら、おもしろい場面では声を出して笑ったり、切ない場面では涙をこらえながら最後まで楽しんで鑑賞してくれました。鑑賞後、子どもたちは「楽しかった」と感想を口々に言いながら、笑顔で帰っていききました。子どもたちにとって、今年の夏休みの思い出の一つとして心に残ってくれると嬉しいです。(かがやきの丘子ども会)



沖縄千夜一夜

台風銀座

今年は6月末に梅雨が明けましたが、例年は6月初めに梅雨明けして10月までの5か月間は台風シーズンです。

「沖縄は台風がしょっちゅう来るから大変ですね」と県外の人からはよく言われます。でも、そうでもないのですよ。

沖縄県全体としては、ど



マンション屋上に設置された給水タンク

ここが台風の進路上にあるので、年間20数個襲来しますが、私が住んでいる沖縄本島の中部では、そのうちの2回くらいしか直撃しません。宮古、八重山などの先島諸島は今年に入ってから、もう既に2回被害を受けています。沖縄本島にはまだやってきてはいません。

台風は地震と違って予報に水タンクが設置してあ

が出来ますから、事前に準備ができます。食料を買い込んでおいて、当日は外に出なければいけないことなのです。

去年は台風のせいで一度停電を経験しました。電気が消えたと思っただけで安心していたら、次に消えたあととはなかなか点かず、結局、丸々3日間復旧しませんでした。

学習したのは、停電したら冷蔵庫も使えないので、買い込む食料は保存食に限る、ということでした。

(中原勝一)

かがやきの丘子ども会(永井幸子会長)は、8月1日、かがやきの丘自治会館きらりで映画鑑賞会を開催しました。写真。初めての試みだったので、本年度も開催することとなり、「シユウ・オンライン」を上映



今年も愛の声かけパト

本活動は草津市青少年育成市民会議の要請に応えるものであり、市民会議の一言葉は「地域の子は、地域で守り育てる」です。青少年が健やかに成長できる環境を整えるために、地域の皆様のご協力を願います。

高齢者を支える仕組み学ぶ

若草一味クラブ(篠山良治会長)は8月28日、若草第五集会所で会員32人が参加し、地域包括支援センターの担当者、朝倉さん、上



紹介に始まり、冊子「高齢者をささえるしくみ」をもとに、「介護保険制度」「地域包括支援センターとは」について説明を聞きました。介護保険制度は高齢者一人ひとりの自立支援を社会全体で支

終活の意義認識



追分南町内会元気づくらぶは8月7日、いきいき百歳体操終了後、ボランティア

グループ「明日への道しるべ」代表の栗津由紀夫氏を迎え、終活サロンを開催しました。写真。当日は猛暑のせいか参加者は20人と少なめでしたが、講師の栗津さんからエンディングノートの書き方について教わりました。

終活、エンディングノートと聞くと難しく思われませんが、自分の意志を家族に伝える事ができ老後を安心して過ごせたり、遺産相続のトラブルを回避できたりすることを知り、その意義を認識しました。

える制度です。65歳になると市から届く被保険者証で、①要介護認定の申請、②ケアプラン等の作成依頼、③介護サービスの利用などができるそうです。

続いて「地域包括支援センター」は、市から委託を受けて開設された高齢者の相談窓口である事などを知りました。市には中学校区志津南学区は高穂地域包括支援センターが担当となります。どうしたら介護サービスが受けられるかといった相談や、最近物忘れが増えて来などの心配事に保

かがやきの丘 会館きらり遊び場に



かがやきの丘「ふれあい広場」(堂本直美代表)は8月29日、町内会館きらりに遊び場を解放し、乳児から小学生まで約30人が参加しました。今回新しく子ども用の卓球台も準備しました。早速、大人相手にラケットを握っ

健師、ケアマネージャー、社会福祉士が電話や訪問をして対応してくれます。(平日の8時30分から17時30分(561-8143))

若草一味クラブでは、クラウンドゴルフ、囲碁ボード、セラバンド体操の定例開催と共に「茶話会」も開催しています。この「茶話会」は高齢者同士のふれあいと仲間づくりのため、毎月第4水曜日10時より「若草第五集会所」にて開催しており、会員以外の高齢者も参加できます。地域の皆さんのご参加をお待ちしています。

て楽しんでいました。写真。また子ども達が元気に遊ぶのを見守りながらお母さん達の会話ははずみました。暑さが戻った日だったのでカキ氷も人気で、公園で野球をしていた小学生も食べに来てまた元気に遊びに出

て楽しんでいました。写真。また子ども達が元気に遊ぶのを見守りながらお母さん達の会話ははずみました。暑さが戻った日だったのでカキ氷も人気で、公園で野球をしていた小学生も食べに来てまた元気に遊びに出

子どもが元気な居場所としてのふれあい広場でほっとする子どもたちは可愛い笑顔を見せていました。敬老会は9月16日(月・祝)、志津南学区敬老会が志津南小学校体育館で開催されます。町内会ごとに席を設け

談をしていただきます。またイベントの部では、京都橘大学の和太鼓、及び立命館大学のアカペラサークルの演奏をお楽しみください。

9月22日に スポーツまつり

若草・岡本西地区のスポーツまつり実行委員会(塩谷隆委員長)主催の第15回スポーツまつりは9月22日(日)9時から志津南小学校グラウンドで開催されます。自動車での来場は遠慮のうえ、多数ご参加ください。(雨天の場合は、志津南小学校体育館。)

パソコンの駅
パソコンについての相談
▽9月25日(水)
10月25日(金)

ごみ袋引換券 9月30日まで

現在お持ちのごみ袋引換券は9月末で無効になります。10月1日からは新しい引換券に替わりま

資源回収
□毎月第1・3日曜日
★若草1〜5丁目町内会
□毎月第2・4日曜日
★若草6〜8丁目町内会
岡本町西町内会
□毎月第2・4土曜日
★かがやきの丘町内会
□毎月第1・3土曜日
★フォレストローズ子供会
□毎月第2日曜日
★向山子供会
※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・古着

13時〜16時
▽志津南まちづくりセンター サロン

折々の記



高齢者ドライバーの事故のニュースが毎日のようにテレビで流れてくる。車の自動ブレーキをと自動運転の技術とかいろいろ工夫されているが本当の問題は何だろうか。あるアンケート調査の結果に愕然とした。20代から70代のドライバーに運転に自信があるかと

交通事故に思う

老化すると体型や姿勢筋力の影響なのか、骨盤が広がり足がガニマタになり自分が思っている以上に足が広がっている。プレキとアクセルの位置を踏み間違えるのは本当に起こるらしい。

人間はどうしても老化する、身体も脳も。そして車は簡単に人を死に至らしめる乗り物だ。自分の能力が衰えたら運転を諦めるという選択はないものか。例えば、バス料金の値下げとかウーバーの様な自動車サービス導入のモデル地域にしてみたらどうか、何とか対策できないものか。

判断能力が衰えているのにハンドルを握らなければならぬ様な事をなくすために、社会の仕組みを変えていかなければならない時がきている。(ボコアボコ)